



不要になったらどうすればいいの？

モバイルバッテリーに関する相談が寄せられました。

問合 消費生活センター（ステーションNビル3階） ☎753・5555

相談

スマートフォンの充電に使っていたモバイルバッテリーが膨らんできた。処分するにはどうすればいいのか。

モバイルバッテリーは持ち運べる充電器で、スマートフォンやタブレットなどを外出先で充電できるため、多くの人が利用しています。乾電池式タイプもありますが、リチウムイオン電池を使った繰り返し使えるタイプが主流です。

最近、モバイルバッテリーの火災事故が問題になっています。火災原因としては、モバイルバッテリーの劣化による膨張や高熱、落下による衝撃などが考えられます。破損や膨張した商品の使用はやめましょう。

不要になったモバイルバッテリーは自治体でも回収していますが、回収方法や条件は自治体ごとに違います。本市ではモバイルバッテリーなどの電池類はテープなどで絶縁して、透明か半透明の中が確認できる袋にまとめて、燃えないごみの日に指定袋に入れて出すことになっています。ただし、破損や膨張しているものは、回収できません。メーカーや家電販売店でも回収を行っている場合があるので、問い合わせてみましょう。

モバイルバッテリーは、電気用品安全法で規制されており、安全基準を満たしている商品にはPSEマークが付いています。PSEマークの付いていない商品の販売は禁止されています。購入の際は、必ずPSEマークを確認しましょう。安いからと値段だけで判断せず、連絡先が確かなメーカーや販売店から購入をしましょう。また高温下に放置せず、落下などの衝撃を与えないなどの適正な使い方をしましょう。



▲PSEマーク



健康相談



池田市歯科医師会 検索



SNSでフッ素入り歯磨き剤の危険性を訴える投稿を目にしました。フッ素は危険でないか心配になったのですが、大丈夫なのでしょうか？



大丈夫です。フッ素の危険性を訴えたSNSの投稿では、「有機フッ化物」と「無機フッ化物」を混同していなかったでしょうか。「有機フッ化物」は工業界で使用されてきた物質で環境汚染の原因となります。一方、歯磨剤（歯磨き粉）に含まれているのはフッ化ナトリウムなどの「無機フッ化物」であり有機フッ化物とは全く異なる物質です。歯磨剤中のフッ素の危険性を書いてある記事は数十年前から時々目にしますが、心配はいりません。